

## スポーツ・芸術文化共創専攻 カリキュラム・ポリシー

### 【教育内容】

(i) ディプロマ・ポリシーへの到達に向けて「研究科共通科目」、「専攻共通科目」、「専攻ゼミナール科目」、「専攻選択科目」「研究指導」から成る教育課程を編成する。

(ii) 「研究科共通科目」

スポーツ・健康、芸術の各分野における先端的研究を取り上げる科目を配置する。

【◎知識・理解】 【○関心・意欲・態度】

(iii) 「専攻共通科目」

スポーツ・芸術を軸とした地域文化振興に関する専門知識の修得に関する科目、地域社会の現状や課題を分析する科目など、社会学及び関連分野に係る専門知識を修得する科目を配置する。

【◎知識・理解】 【◎思考・判断】 【○技能・表現】 【◎関心・意欲・態度】

(iv) 「専攻ゼミナール科目」

「専攻共通科目」における社会学及び関連分野に関する教育研究と「研究科共通科目」「専攻選択科目」におけるスポーツ・芸術の専門知識・技能に関する教育研究を統合するために、「専攻ゼミナール科目」を配置する。事例研究（文献調査）、事例研究（課題探究）、プロジェクト企画・実践、プロジェクト実践結果の考察を通して、主体的に地域社会の課題解決を試みることで、社会実践のための実践力を磨いていく。

【○知識・理解】 【◎思考・判断】 【○技能・表現】 【◎関心・意欲・態度】 【◎統合・働きかけ】

(v) 「専攻選択科目」

スポーツ・芸術に関する専門知識・技能を修得する科目であり、各領域ごとに「特論Ⅰ」、「特論Ⅱ」、「特論演習」を設ける。

【◎知識・理解】 【◎思考・判断】 【◎技能・表現】 【○関心・意欲・態度】

(vi) 「研究指導」

(ii)～(v)の科目で修得した知識・技能を統合し、スポーツ・芸術文化共創の研究についての修士論文を作成することを通じて、スポーツや芸術の優れた知識・技能とエビデンスベースドな研究力と実践力に基づいた研究成果を地域社会に還元する。

【◎知識・理解】 【○思考・判断】 【◎技能・表現】 【○関心・意欲・態度】 【◎統合・働きかけ】

### 【教育方法】

(科目履修)

スポーツ・芸術に関する専門的かつ高度な理論や地域社会の現状や課題に対する深い理解、文化振興に関する高度な知識を修得するために、講義、演習形式の授業を行う。そして、「専攻ゼミナール科目」「研究指導」において、修得した知識の統合を行う。授業の中では、ディスカッション等院生同士が学び合うことができる教育方法をとる。

(研究指導)

主指導教員と2名以上の副指導教員（うち1名は主指導教員と同分野の教員、1名は地域社会分野の教員）の計3名以上の指導体制のもと、各学年の始めに決定した研究指導計画に基づいて、修士論文作成のための研究指導を実施する。

### 【教育評価】

(学修評価)

学修の評価にあたっては、本学が定める成績評価基準に基づいて評価を行う。各科目の

学修成果は、授業科目の到達目標の達成度をシラバスに記載されている評価方法によって、筆記試験、レポート、発表、授業への積極性、演習成果等で評価を行う。

修士論文の評価について、本専攻の学位論文評価基準に基づいて評価を行う。学位の授与にあたっては、学位授与の方針に基づき、論文審査（課題設定、先行研究の検討、適切な研究方法、独創性、研究倫理の履行等の観点からの合否判定）、関連科目の到達度評価、最終試験（口頭試問）により総合的に評価する。

（カリキュラム評価）

学生の学修成果や専門領域の研究動向、連携協議会における学外委員からの意見・要望等、高知大学内部質保証会議による内部質保証の結果を参照しつつ、毎年カリキュラム評価を実施し、必要に応じて改善を行う。